

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2020/9/8
所属学部・ 研究科・学府	工学部
所属学科・専攻	情報工学コース

1. 留学先について

留学先大学名	スイス連邦工科大学チューリッヒ校							
留学先所属学部等	Department of computer science							
留学期間	出発日	2019/8/30	入学日	2019/9/1	修了日	2020/8/30	帰国日	2020/3/18
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()					
	通学時間	30分					<input type="checkbox"/> On campus	
	通学方法	バス・トラム						
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	() 人部屋	<input type="checkbox"/> その他()				
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input type="radio"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="radio"/> バス	<input type="radio"/> リビング	<input type="checkbox"/> その他()	
食事	自炊 <input type="radio"/> %	学食 <input type="radio"/> %	外食 <input type="radio"/> %	<input type="checkbox"/> その他 () %				
保険	海外旅行保険(名称)	東京海上日動						
	派遣先大学指定の保険(名称)	swisscare					<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄ チューリッヒ(飛行機) ⇄ ゾリコン(電車)							

2. 留学にかかった費用について

総費用	161万 円							
出どころ								
自費	貯金	10万 円	アルバイト	円	その他			円
援助	両親	35万 円	家族・親戚	20万 円	その他			円
奨学金	JASSO	96万 円	その他名称()			円		
その他	その他()							円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="checkbox"/>	現金	20万円	<input type="checkbox"/>	その他(クレジットカード)	円
留学中	<input checked="" type="checkbox"/>	海外送金	<input checked="" type="checkbox"/>	キャッシング	その他(クレジットカード)	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	特になし
住居にかかった費用	キャッシュカード
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			30万	円
海外旅行保険			20万	円
OSSMA			2万	円
査証・在留許可証			2万	円
住居	スイスフラン	4,515	50万	円
食費	スイスフラン	2,800	33万	円
通学に要する交通費	スイスフラン	800	10万	円
教科書、教材費	スイスフラン	80	1万	円
その他大学に支払った経費		0	0	円
光熱費		0	0	円
その他(スマホ)		210	2万5千	円
その他()				円
その他()				円
その他()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無			
			○	有	○	無
1 Probabilistic Artificial Intelligence	正規	5	○	有		無
2 Reliableb and Interpretable AI	正規	5		有	○	無
3 Deep Learning	正規	5		有	○	無
4 Mathematical Tools in Machine Learning	正規	4		有	○	無
5 Introduction to Machine Learning	正規	8	○	有		無
6 Data Modelling and Databases	正規	7		有	○	無
7				有		無
8				有		無
9				有		無
10				有		無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

myStudiesという、千葉大学でいう学生ポータルのようなサイトで登録。期末試験の直前まで履修登録を外すことができる。

週1-2回の講義に加え、TAによる課題の解説、プロジェクトをこなす。各講義は90分、TAによるセッションは45分。

3-3. 語学力について

留学開始当初は友達の発言や授業内容を一度で理解することができなかったが、徐々に知識や語学力が追いつき、後半は余裕を持って会話や授業に参加できた。

3-4. 図書館など学内施設について

同じ建物内に複数の図書館があった。ジムや体育館、バーなどの施設も充実していた。勉強スペースもいたるところにあり、場所を見つけるのに苦労することはなかった。

3-5. その他

利用はしなかったが、情報工学部の建物に毎日無料で飲めるビールの自動販売機があった。公共交通機関やキャンパス間バスのおかげで、キャンパス間の移動が楽だった

4. 生活面

4-1. 住居について

60人以上でキッチンを共有していたので、キッチンまわりに関する問題が多々発生していた。部屋は個人部屋でトイレもそれぞれの部屋にあったので、プライバシーは保れていた。

4-2. 食生活について

朝は食べず、昼夜は学食で食べていた。スーパーが寮の目の前にあったので、土日やコロナ期間はそこで買い物をした。学食ではいもやパスタ、パンを主食に、肉とゆで野菜が添えられることが多かった。魚はほとんど出ることがなかった。土日祝日はチーズとチョコレートとソーセージの生活だったが、種類が豊富で飽きることはなかった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

スマホのキャリアによると思うが、スマホが繋がらない場所があった。学内のインターネットは良好だった。

4-4. 服装について

寒いイメージのあるスイスだが、暖冬？のおかげで滞在期間は10℃から20℃台と過ごしやすく、服を新たに買い足す必要がなかった。室内はしっかり温度調整がされていたので、特別な防寒着は必要なかった。夏のスイス人の標準は半袖短パンだった。

4-5. 健康管理について

特に何も気にせず過ごしたが、体調を崩すことはなかった。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

海外旅行保険に加入して、現地でも加入した。保険のお世話になることは一切なかった。

4-7. 課外活動について

特になし。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし。

4-9. 日本から持参してよかったもの

特にない。ほぼ現地調達できるので、気合を入れていろいろ持っていく必要はないと思う。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

持参したものを全て使っていたので、不要だったものは特にないと思う。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

親切な人やフレンドリーな人が多かった。あからさまな差別は一切なく治安も良かったので、安心して生活を送ることができた。マナーに関する日本との大きな違いは特になかったと思うが、食事のマナーや高齢者優先などのマナーに関しては日本より徹底されていたと思う。チューリッヒの公用語はドイツ語だが、英語が話せる人が多いので、英語を話せれば基本的に困ることはないと思う。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【ユンフラウヨッホ(国内)】2019年9月、【ゼルマツ(国内)】2019年10月、
【オランダ & ベルギー & フランス】2019年12月

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

近くに大きな湖・公園があり、その周辺をほぼ毎日散歩していた。その湖の向こうにはアルプスが見え、歩道では毎日多くの人が景色や友人との話、お酒などを楽しんでいた。週末は、日帰りハイキングやスノーボードに行った。その他、毎日開かれる体育イベントに定期的に参加していた。(例)フットサル、バレエ、ポテアタック

5. その他

5-1. 留学先大学について

図書館の多さ、学習スペースの多さ、講師付きのスポーツイベントへの無料参加権利、学生証提示で半額になる学食などあらゆる面で学生のニーズを満たしてくれる。それに応えるように現地学生の友人は勉強やその他の活動にしっかり取り組んでいた。派遣学生との履修登録に関する個人面談やコロナ中のこまめな連絡など、スタッフの対応も心強かった。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

スイス連邦工科大学チューリッヒ校との交換留学は僕の代で最後となり残念ですが、スイスへの旅行は強くお勧めします。

5-3. 留学を終えて

予定より1年間卒業が遅れるのを懸念して、長期留学を決めるまでに葛藤があった。まだ結論を出せる段階ではないと思うが、留学を通してさまざまな経験をすることができて良かった。英語で授業を受け、グループワークをこなし、試験を通過することができたことで、大きな自信を得ることができた。また、留学期間を通してさまざまな人生に触れ、あらためて自分の今後について考え直すことができた。